

S-NET

湘南ふくし ネットワーク オンブズマン

- あなたの立場にたって一緒に考えていきます -

オンブズマン宣言

- 1) 私たちは、「権利」を「その人らしく生きるために欠かせないもの」ととらえ、これを守り、かつ実現するために活動します。
- 2) 私たちは、「権利」を奪うこと、特に、体罰、虐待、拘束などを絶対に許しません。
- 3) 私たちは、その人自身が決めたこと、考えたこと、訴えたことを尊重し、秘密を守り、最善の利益のために活動します。
- 4) 私たちは、障がい者・高齢者・児童一人ひとりが市民として地域社会とともに暮らせるよう、社会の変革に努めます。
- 5) 私たちは、利用者の人たち、まわりにいる人たち、地域のあらゆる人たちと協力し、ノーマライゼーション社会の実現をめざします。

- 湘南ふくしネットワークオンブズマンとは？（わたしたちの活動） -

湘南ふくしネットワークオンブズマンは、地域に根ざした権利擁護活動を展開していくことを目的として2001年5月より特定非営利活動法人（NPO）を取得し、活動を行っております。現在20名の福祉オンブズマンによって、湘南地区を中心に県内21箇所の施設に、利用者の声を大切にしていこうことをモットーに毎月の訪問を行っています。

- 事業内容 -

障がい者、高齢者、児童、本人の立場にたつ家族・施設職員・施設関係者からの声を受け止め代弁していくこと。

地域生活支援のための情報提供事業及び啓発活動をなすこと
オンブズマンの養成及び研修

障がい者・高齢者・児童のための権利擁護に関する調査、研修、出版及び提言

任意後見・法定後見

権利擁護に関する講師派遣



オンブズマン養成基礎研修講座より

- あなたの立場に立って一緒に周りを考えていきます（オンブズマン活動とは） -

オンブズマンは、障がい者や高齢者の身近にいて、権利を守るために働く人です。障がいがあるから、高齢であるからということで、嫌な思いをしたり、困ったりしたら、相談してください。オンブズマンは、その人の立場に立ち、一緒に周りを変えていくために働きます。施設の中で困っていること、仕事のこと、職員のこと、生活する場所のこと、心配事、家族のこと、結婚のこと、友人関係など人との関係、大きく人生についてなど何でも相談できます。あなたの立場にたって、真剣にあなたの話を聴きます。あなたがあなたらしく生活できるように一緒に考え、あなたの権利を守るために活動します。

- あなたの権利主張を支援し、代弁・弁護します（アドボカシーとは） -

アドボカシーは、社会福祉サービスを利用する障がい者、高齢者、児童の権利主張を支援し、代弁・弁護する活動です。さらには、利用者の主張、権利獲得のプロセスを重視し、利用者の主体性に価値をおく概念であるといえます。特に自己決定権の尊重が改めて重要視されてきている状況のなかで、アドボカシーは社会福祉実践の根幹を支える重要なものとなってきています。オンブズマンは、あなたの権利主張を支援し、代弁・弁護するために活動します。また、アドボカシーの実践は、権利擁護センターや成年後見制度、地域福祉権利擁護事業、オンブズパーソン制度等との重層的なネットワークがシステムとして機能し、有機的に連動することによって、真の代弁が行われ、それがノーマライゼーション社会の構築につながるものと考えられます。オンブズマンは、真の代弁が行われるために、重層的なネットワークの構築に努め、ノーマライゼーション社会の実現を目指しています。

- 施設と利用者とおんぶズマンをつなぐ（協働型オンブズマンとは） -



オンブズマンの役割は利用者の方々の声に耳を傾け、その声の実現のために活動するのですが、その実現をサポートする第一義的な人は、オンブズマンではなく、日々利用者の方々を支援している施設職員や施設なのです。したがってその声を阻害している壁や問題があった場合、その問題にもよりますが、施設やその職員とともに協議し、またネットワーク全体の中で考えていくことが重要なのです。ですから施設側には必ず、オンブズマン協力員という職員があり、利用者とおんぶズマンとのパイプ役を果たしています。ただし虐待や体罰等の深刻な問題に関しては、しっかり糾弾していきます。



- 1対1で秘密厳守（相談方法は） -

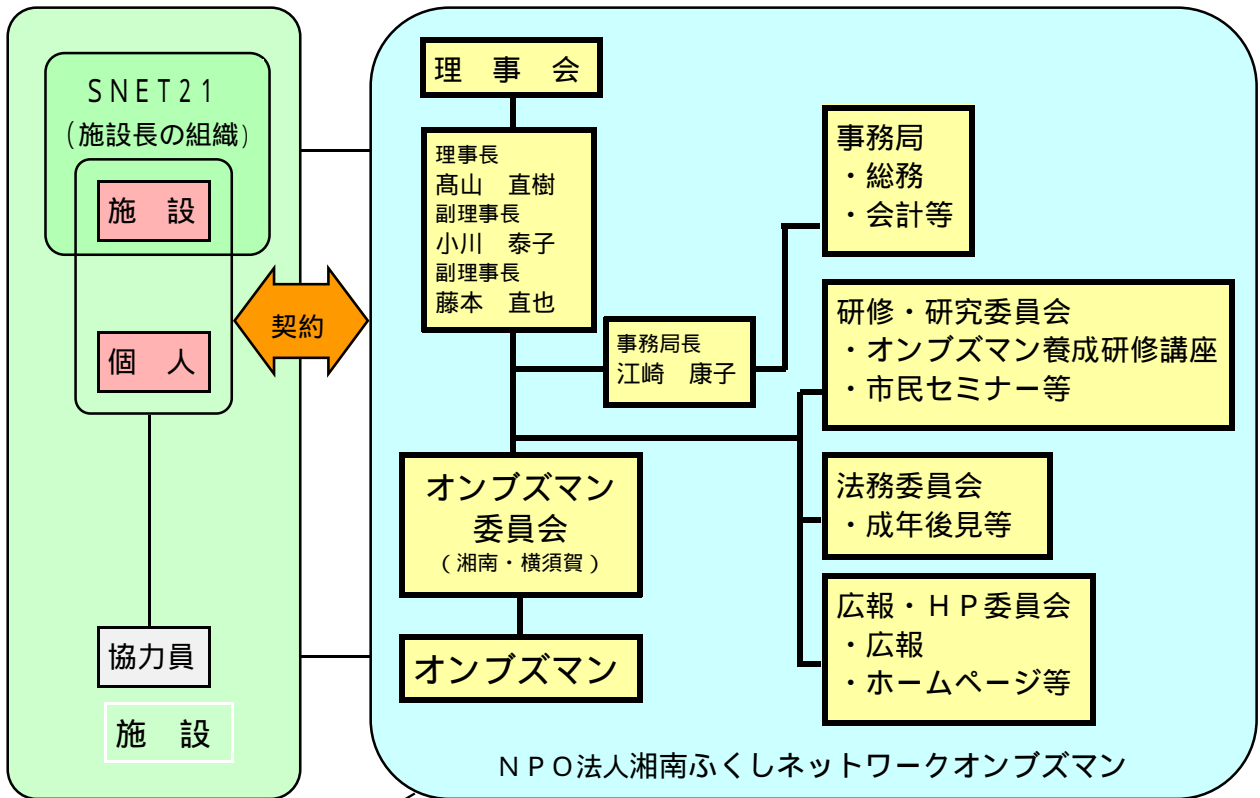
私たちは契約によって活動を開始します。施設と契約をして、月に一度訪問して相談を受けています。施設で話したくない方の個別相談も受けています。相談内容は秘密にします。相手がいるときはあなたと相談しながら解決していきます。連絡方法は電話・ファックス・手紙・24時間対応の電話もあります。個人での契約もできます。



市民セミナーより

- 専門家を含むオンブズマン委員会（問題解決のプロセス） -

利用者からの相談では、すぐに解決可能な問題であったり、問題が複雑になっているものがあります。たとえば施設内の軽微な物理的な問題であった場合には、その場で施設長やオンブズマン協力員に指摘をします。しかし重大な問題や複雑な問題が関係している場合には、月に一度開かれるオンブズマン委員会で問題を共有しながら、対応を考え、委員会として施設等へ文書で対応を求めます。その文書は報告書、要望書、意見書などがあります。その後、話し合いを持ったり、協議を行うなどしていきます。



かながわオンブズパーソン 協議会準備委員会
(神奈川県内のオンブズパーソン団体)

組 織 図

- 市民による支援の網の目（メンバー） -

私たちオンブズマンは主に湘南地区在住の市民で、現在26名います。次のような人たちです。
弁護士、福祉学者、社会福祉士、司法書士、元議員、元介護職、障がい者の親、元民生児童委員、フリーライター



理事長からご挨拶

1997年5月に湘南ふくしネットワークオンブズマンが活動を開始して以来、9年がたちました。地域ネットワーク型福祉オンブズマンという、新しい形の施設オンブズマンの活動でした。当然、先行の活動があるわけではなく、マニュアルもありませんでした。加盟施設の施設長を中心とする運営委員会（現在のSNET21）とオンブズマン委員会が立場は異にしますが、将来には、画一的な施設という枠組みではなく、地域社会において、その人らしい生活を送ることができるノーマライゼーション社会の構築を目指している方向性が一致し、この活動が展開されていったのでした。

その目標に近づくためには、まず利用者の方々の声に耳を傾けることが非常に重要でありました。一人の利用者の側に立ち、その声を受け止め、実現を図っていく、それは利用者との関係だけでなく、施設、職員、家族そして市民の協働がなければなりません。一人の利用者の声を中心に、関係者が知恵を出し合っていく、そしてその声を社会化していくなかで、市民や地域が変わっていく、そのような影響を与えつけていくことが私たちの使命だと考えています。

2001年5月、より地域に根差し、市民の連携を深めていきつつ、権利擁護活動を展開していこうということで、特定非営利活動法人（NPO）を取得しました。今、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）、そしてNPO等の新しい権利擁護の仕組みが独自に存在しています。今後湘南ふくしネットワークオンブズマンとこれらの新しい仕組みを、如何に重層的に地域の中に作り出していくことができるかが直面している大きな課題であり、そのキーパーソンは、当事者及び市民であると確信しています。

ひとりでも多くの地域の方々に私たちの活動にご賛同いただき、さらにはご参加いただければと願っております。そして共に福祉の権利擁護システムを作り上げていきたいと考えます。今後ともよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

理事長 高山 直樹

沿革

1996年8月	障がい者・高齢者の権利擁護に関するスウェーデン研修参加
1996年11月	湘南ふくしネットワーク準備委員会発足
1997年5月	湘南ふくしネットワーク設立総会（加盟施設8、オンブズマン6名）
1998年2月	湘南ふくしネットワークセミナー開催
1999年3月	湘南ふくしネットワークセミナー開催
1999年3月	湘南ふくしネットワーク総会（加盟施設16、オンブズマン10名）
2000年3月	湘南ふくしネットワークセミナー開催
2000年3月	湘南ふくしネットワーク総会（加盟施設19、オンブズマン15名）
2000年4月	NPO法人化準備委員会発足
2000年11月	毎日新聞横浜支局長賞 受賞（毎日介護賞）
2001年1月	NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン設立総会
2001年5月	NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン及びSNET21発足
2002年2月	第1回市民セミナー開催
2002年9月	第1回オンブズマン養成基礎研修講座開催（8講座）
2002年10月	第1回地域支援研修講座開催（4講座）
2003年2月	第2回市民セミナー開催
2004年2月	第3回市民セミナー開催

賛助会員入会のお願い

私たち「湘南ふくしネットワークオンブズマン」は、施設や地域において福祉サービスを利用または必要とする人たち（以下「利用者」という）の権利を守り、その人が決めたその人らしい暮らしを実現するために活動しています。そして、より一層利用者の側にたった活動ができるようにと、2001年5月に特定非営利活動法人（NPO）の認証を受けました。私たちは、利用者の意見に耳を傾け、そこにある問題の解決に知恵を出し合い、全力で取り組みます。私たちは利用者の方の力になり、ノーマライゼーション社会を実現したいと思っています。そのためには、地域の方たちの協力が必要です。私たちの活動をご理解くださり、ご支援くださる方には、賛助会員としてご入会くださるようお願い申し上げます。

賛助会員会費

- ・地域のみなさま 年額 一口 1000円（一口以上）
- ・法人のみなさま 年額 一口 5000円（一口以上）

* ご入会いただきました方には、会報などをお送りする他、セミナー・研修会などに割引特典があります。

ご入会の方法：郵便振替振込書により下記口座へ会費をお振り込みください。

郵便振替口座番号 00210-9-75496

口座名義人 NPO法人 Sネットオンブズマン

事務局 〒251-0871 神奈川県藤沢市善行4-3742-4
電話・FAX 0466-81-9218 直通電話 090-4937-4904
URL <http://www.npo-snet.com/> E-Mail info@npo-snet.com